

# 今、災害が起きたら



あなたが住む町で災害が起こった時、あなたは自分の身を守る術を知っていますか。その備えは完璧だといえますか。

古賀市・新宮町で地震が起きると、大きなもので震度6強の揺れが予想されます。

また、地震による津波や火災の発生、大雨等による洪水・土砂災害や高潮など、自然災害は場所を選ばず猛威を振るいます。加えて、

電気・ガス・水道のライフラインが停止する。

自分の家や周りの建物が崩壊する。

家族や友人と連絡が付かなくなる。などの状況になります。

大きな災害であればあるほどその可能性は高まるのです。

防災に関する情報は、日々アップデートされています。自分の命そして、家族や大切な人を守るように、正しい知識をつけ、災害に備えてください。

## 家の中での備え

下敷きにさえならなければ逃げられたのに・・・  
そうなる前に**家具を固定**しましょう



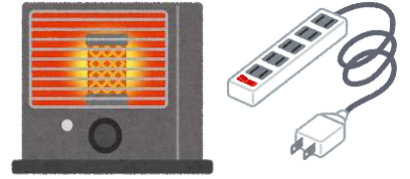
地震で家具が転倒・移動してしまうと、人が下敷きになって大怪我をしたり、避難通路の障害になったり、火気器具・電気配線の破損により火災になったりして非常に危険です。家具は、「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」処置をとりましょう。



突っ張り棒やL字金具で家具の固定

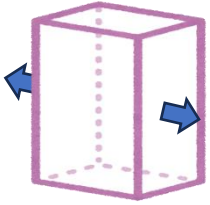


重たい荷物は床に置く

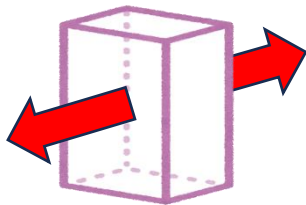


火気器具・電気配線は家具が転倒しても破損しない位置に

揺れにくい

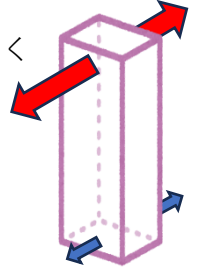


揺れやすい



上から見たときの形が長方形の建物や家具には図のように、**揺れにくい方向**・**揺れやすい方向**があります。

縦に長いものは上のほうが揺れやすくなっています。そのため、家具は上部を固定しましょう。また、高層ビルの場合、高層階(特に10階以上)が大きく揺れます。



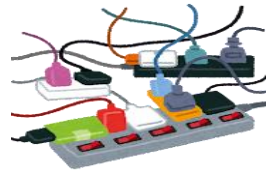
揺れやすさを意識した家具の配置を心がけよう！

無事に助かったのに家が全焼・・・  
そうなる前に**火災に備えよう！**



住宅用火災警報器  
消火器を設置しよう！

地震で倒れた家具で電気コードが破損して**出火**することも・・・



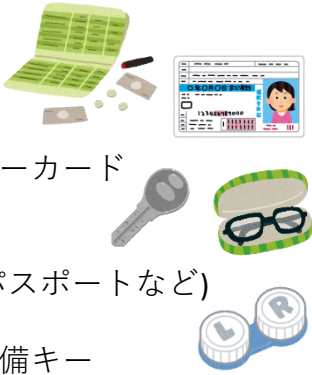
使わない電気コードは抜く！

# 被災に備えて

## 非常持出品リスト

### 貴重品

- 現金
- 印鑑
- マイナンバーカード
- 健康保険証
- 身分証  
(免許証、パスポートなど)
- 預金手帳
- 車や家の予備キー
- 予備の眼鏡、コンタクトなど



### 救急医療品

- 常備薬
- 持病薬
- 消毒液
- 体温計
- 絆創膏
- 包帯
- お薬手帳



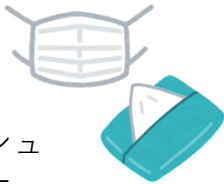
### 便利品

- 懐中電灯(電池含む)
- 使い捨てカイロ
- アルミ製保温シート
- 毛布
- 雨具
- ビニール袋
- 軍手



### 衛生用品

- マスク
- 衣類(下着など)
- 整理用品
- ウエットティッシュ
- ドライシャンプー
- 歯磨きシート
- 携帯用トイレ
- トイレレットペーパー



### 情報収集用品

- 携帯電話
- 携帯ラジオ(電池含む)
- ハザードマップ



### 非常食

- 備蓄しておいた非常食品
- 缶切り、栓抜き
- 紙皿、紙コップ



## トイレが使えない!?

断水により水洗トイレが使用できなくなる可能性があるよ。  
また、避難所では多数の人がトイレを使用するため、  
衛生的に悪い環境になる可能性もあるんだ。  
携帯用のトイレを多めに備えておくようにしよう。



## 非常備蓄品リスト(最低3日分)

### 飲料水

- ミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)



### 非常食品

- お米
- 缶詰、レトルト食品
- 乾麺、乾物
- お菓子(チョコレート、飴)
- フリーズドライ食品  
(お湯を注ぐだけのもの)

## ローリングストック法を活用しよう!

ローリングストック法とは、非常食品を定期的に消費して、  
その分を改めて補充する方法のこと。  
期限切れで無駄になる非常食品をなくし、  
常に十分な備蓄をすることができる。



### 燃料

- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料



# 避難のポイント

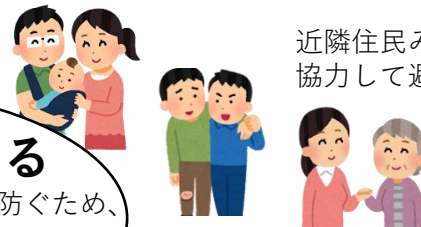
## ガスの元栓を閉め ブレーカーを落とす

災害後の火災を防ぐ。  
地震の後の電気火災を防ぐ感震ブレーカーを  
設置する。



## 近所で助け合う

近隣住民みんなで  
協力して避難する。



## 車での移動は避ける

緊急車両の妨げや、交通渋滞を防ぐため、  
徒歩で避難する。  
(特別な場合を除く)



## 正しい情報を得る

行政・放送局  
から発信される  
正しい情報を得る。



## 確かな避難所

災害によって、安全な避難所が違う場合がある。  
自宅周辺のどの避難所がどの災害に対応できるのかを  
確認しておく。



災害時は被害の多発や道路の寸断等によって、公共機関の助けがすぐには  
来れない場合が多いんだ。自分の身は自分で守り、周りで火災や助けを求  
める人がいたら、近所のみんで協力して助け合おう。  
また、他にも災害に対する有益な情報がが沢山あるよ。みんなもハザード  
マップを見て、防災知識を高めよう！  
知っているだけで助けられる命があるよ。

## 洪水

運動靴で移動  
長靴は水が入ると  
重くなって危険



よく通る道の真ん中を  
杖をつきながら  
慎重に歩く



橋を  
渡らないようにする

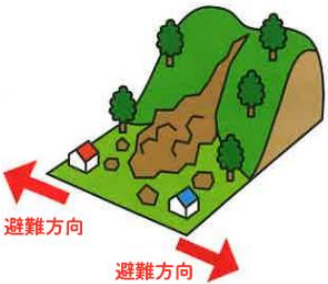


## 土砂災害

がけ崩れの恐れ



土石流の恐れ



## 津波

小さな揺れでも  
津波の可能性



海岸や川に  
近づかない

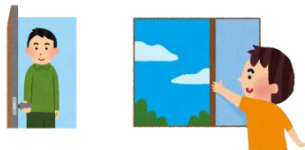


高い場所へ  
避難する



## 地震

揺れが収まったら  
窓や戸を開け  
避難口の確保



門や塀に  
近づかない



慌てて外に  
飛び出さない

